

令和2年度

# 高志小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 単元構想および授業目標を明確にし、他者との対話や深い思考による豊かな表現力を育成するための、言語活動の充実
- 主体的に学習に取り組み、思考力・判断力・表現力を育てることができるカリキュラム・マネジメントによる単元開発

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長 教頭 研修主任	特別支援コーディネーター 養護教諭	校長

### ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

日々の情報交換によって取組状況を確認しながら、学期に1回以上行う授業公開や研究授業を通して把握していく。

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能はある程度身につけており、与えられた課題にはまじめに取り組める。 ●語彙が増えてきてはいるが個人差が大きく、長文を読み取ったり表現(書く・話す)したりすることに課題がある。	・様々な種類の長文を読み取ることや表現する(書く・話す)ことに、抵抗なく取り組むことができる。 ・学習の振り返りを、学んだ言葉や習得した語彙・モデル文を使用して、豊かに表現できる。	・語彙や文型の習得のために、辞書引きや音読、視写を取り入れた読書活動を継続する。 ・毎時間、学習課題の提示とそれに沿った振り返りの時間をもち、振り返りのてびきを活用して質的向上を図るとともに、グループで振り返りの共有をする。			

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○グループワークでの意見交換が活発にでき、友達の意見からヒントを得たり、自分の考えと比較したりする児童が増えている。 ●根拠を示して意見を述べたり、意見を比べてまとめたりすることがまだ十分ではない。	・自分の考えを根拠を示して表現したり、友達の意見をしっかりと聴いて自分と比較し、つながりのある発表をしたりできる。	・グループワークの際に、自分と友達の考えや表現の違いに着目し、比較したりまとめたりする指導を行う。 ・友達の考えを受けて自分がどう考えたか、考えの跡が分かるノート作りを指導するとともに、ロイロノートに学びを蓄積させ、以前の自分との比較・対話ができるようにする。			

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の関心の高い活動には主体的に取り組んだり、学習の流れが理解できると先を見通して自ら取り組んだりできる児童が増えている。 ●自分で課題や時間を作り出すことはまだできていない。	・自分で課題や時間を設定し、進んで計画的に学習に取り組むことができる。	・単元の始めに、子どもとともにゴールを設定し、見直しをもって学習できるようにした上で、学習課題の設定から児童が主体的にできるように指導する。 ・学年始めに計画したカリキュラム・マネジメントを随時見直ししながら、児童が主体的に取り組める、体験・交流を多く取り入れた単元設定を行う。			

## 令和2年度 学力向上ロードマップ

